

- ・竹下 砂男 氏
- ・武村 哲也 氏

以上の7名が任命同意されました。

一般質問

編集／大町町議会
大町町企画政策課

水被害軽減対策について

山下 淳也

議員 ①激特事業等の現時点での進捗状況は、どのくらいなのか。具体的に事業内容や場所の説明を。

②現時点での進捗状況でどのくらい軽減ができるのか。

③大町町LINEの登録状況は。

農林建設課長 ①六角川本川部分の河道掘削は完了しています。

高橋排水機場の既設ポンプの増強については、令和3年度に3号ポンプの増強(3・7トン)、令和4年度に2号ポンプの増強(3・7トン)についても整備完了です。令和5年度末までには1号ポンプの増強が完了予定で、現在の排水能力が毎秒50トンから61トンまで増強されます。

広田川排水機場については、激特事業にて佐賀県で進められており、令和4年10月に着工があり、令和6年度完成目標で進められているところと見られます。

佐賀県において進められている武雄市北方町の焼ため池を活用した流域治水対策として、事前放流施設の工事については、6月9日に操作開始式が行われております。これも1日で20万トン落とす機能があり、六角川の干満を勘案しながら、堤防のり面に放流ゲートを設け洪水吐までの放水路を整備し、堤体の中を通す形で焼米入江に排水されます。

大町の下瀉排水機場については、令和3年8月豪雨により被災したことから復旧工事を進めてきました。今回、既設ポンプ設備の復旧工事や止水壁の設置工事が5月末に完了し、今後機能強化を目的とした増設ポンプ工事、令和6年出水期整備目標で着手することから、排水機能強化式が6月7日に行われました。これも3トン増強して10・5トンとなります。

高良川における治水対策については、気候変動による大雨により高良川からの越水の影響で大町町だけでなく江北町にまで被害が及んでいることから、河川管理者である佐賀県に対して、ポンプ排水能力の増強及び浚渫、遊水地の設置等に直ちに着手していただくよう要望書を提出しています。これを受けて、佐賀県においては現在、内水解析がなされています。

②洪水時の水位低減のため緊急的に河道掘削やヨシ

成育抑制対策、湛水池設置、地盤改良が実施され、これにより令和3年8月出水と同じ規模の洪水でも河川水位が約80cm下がり、ポンプ運転調整を回避する効果が見込まれています。



▲六角川に設置された湛水池(写真手前)

激特事業等が完了した場合、国交省武雄河川事務所において、令和3年8月出水の降水量を基に解析された浸水シミュレーションにより、本町の家屋の床上浸水は約260戸から15戸程度に減少し、武雄市

の六角川洪水調整施設等が整備されると10戸程度に減少すると想定されています。

企画政策課長 ③プッシュ型の情報発信として、令和4年3月1日からLINE公式アカウントの運用を開始しています。

開設の1か月での登録者は228件で、6月1日現在で733件の登録があります。

登録を増やすための対策としては、町のホームページや広報紙での定期的な掲載、そして、昨年7月には「ともだち追加」強化月間としてイベントを開催するなど、「ともだち登録」の増加に努めたところです。

現在では、杵藤地区でもトップレベルの登録者となっています。

また、今月初めにはLINE公式アカウントのリニューアルを行い、防災機能などを充実しており、広報おまち6月号で紹介しています。